

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の
制定を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成25年12月19日

提出者

6番 西園寺 みきこ

15番 小美濃 安 弘

20番 山 本 あつし

武蔵野市議会議長 与 座 武 殿

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律
の制定を求める意見書

容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）は、リサイクルのための分別収集・選別保管を税負担で行うことになっているため、上位法である循環型社会形成推進基本法の 3 R（Reduce 発生抑制＞Reuse 再使用＞Recycle 再生利用）の優先順位に反して、リサイクル優先に偏っています。

このため、家庭から出されるごみ総排出量の減量は不十分で、環境負荷の小さいリユース容器が減少し、リサイクルに適さない容器包装が未だに流通しているのが実情です。

根本的な問題は、自治体が税負担で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用のうち約 8 割が製品価格に内部化されていないことにあります。このため、容器包装を選択する事業者には、真剣に発生抑制や環境配慮設計に取り組もうとするインセンティブ（誘因）が働かず、ごみを減らそうと努力している市民には、負担のあり方について不公平感が高まっています。

武蔵野市では、ペットボトルとその他プラスチックの収集運搬保管経費に年間約 2 億 5,000 万円かかっており、大きな負担になっています。今日、気候変動防止の観点からも、資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことは急務であり、デポジット制度の導入をはじめとした事業者責任の明確化が不可欠となっています。

よって、武蔵野市議会は、我が国の一日も早い持続可能な社会への転換を図るため、政府及び国会に対し、以下のとおり、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを強く求めます。

記

- 1 容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分別収集・選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること。
- 2 レジ袋使用量を大幅に削減するため、有料化などの法制化について検討を進めること。
- 3 2 R（Reduce, Reuse）の環境教育を強化し、リユースを普及するため、学校牛乳のびん化を促進する等さまざまな環境を整備すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 25 年 12 月 日

武蔵野市議会議長 与 座 武

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
環境大臣
経済産業大臣
農林水産大臣
厚生労働大臣
財務大臣
消費者及び食品安全担当大臣

—あて